

# 事業企画書

## 車いすレンタルユース品販売事業



.....  
はじめに  
.....

超高齢化社会下、介護保険の給付環境が厳しくなり、認定基準の引き上げや本人負担率が1割から3割へと改定。特に福祉用具の貸与について、厳しい目が向けられ、自己購入の方向性となっている。 **※介護保険レンタルから自費購入へ**

介護予算の増大が助成制度の認定厳格化へ

少子高齢化における介護人材不足と福祉財政難

現行の福祉用具レンタル方式の見直しが始まる

自費購入により自治体コストの大幅削減



図 5-40 ピックアップ型歩行器



## 介護認定と福祉用具の現状

- 福祉用具の貸与手続きに時間を要する介護認定制度
- 感染症等衛生的な知識がない個人的な譲渡、転売の問題
- 実物の確認がほぼ不可能なため、カタログでの選択肢が主体
- 業者主導の製品調達で製品の選択自由度が小さい

## レンタルユース福祉用具の活用

- レンタルユース品とは新製品の上市等により余剰した福祉用具
- 完全整備、洗浄消毒された状態で待機している福祉用具
- TAIS登録され、介護保険で正規貸与される高品質な福祉用具

# 福祉用具レンタルユース販売事業

## ●事業背景

□鳴り物入りでスタートした介護保険制度、とりわけ福祉用具の供給が転換期を迎えている。当初の至れり尽せりが、今では介護認定に対し高いハードルと費用負担増を求ざるを得ない状況である。全国の自治体が直面している高齢福祉費支出の増大の要因でもあり、費用削減に向け現行の1割自己負担が2018年度に一部改定され、所得により**3割負担**に、2020年以降は完全実施の方向。

□利用者が福祉用具を調達する方法は介護認定でのレンタル(本人負担1割又3割)、認定されない場合はカタログから購入や市販品の調達が一般的。新品は高価格のため、ホームセンター等で車いすを買い求めるケースが多い。しかし安価なものは品質的に粗末なものが少なくなく問題となっている。

□レンタルユース品は公的機関TAIS登録された高品質で貸与用にストックされたもので、安心してご使用頂けます。(1年間の損害保険付)

## ●事業の実際とフロー

□一般的リサイクル店で販売されている福祉用具(車いすなど)は完全な整備洗浄消毒が行われておらず、製品状態がまちまち、感染症の問題などが提起されている。つまり同じ中古でもレンタルユース品とは大きな違いです。また使えるまで使い果すのが一般的ですが、提供する製品は実使用期間が短く、製品の状態が非常に良いことにあります。

※現行の貸与制度の問題点は同一製品を極限期間貸与することで、膨大な金額に膨れ上がることです。

1, 在庫表に基づき発注⇒FAXで発注書を送信

2, 店舗へ直送(代引)又は事前振込

3, 万一の修理などは運送便で対応可能。

4, 製品は3ヶ月の保証と1年間の損害保険が付帯されています。 ※不要になった場合は引き取ること

# 提供可能な福祉用具



- 提供可能な製品
- 車いす
- 電動車いす・電動カート
- 歩行器
- ステッキ
- 介護ベッド



# 収益概算(年間予想 I)

●車いす販売及び自費レンタルの収益予想  
新規取扱として順調に推移した場合を想定

項目	車いす販売数量	売上金額 平均¥25,000/ 台	自費レンタル 数量	売上金額 貸与3年でPAY 平均¥12,000	売上合計	仕入金額 平均@12,000	粗利益 ¥
1年目	300台	7,500,000	300台	3,600,000	11,100,000	7,200,000	3,900,000
2年目	400台	10,000,000	400台	8,400,000	18,400,000	9,600,000	8,800,000
3年目	600台	15,000,000	600台	15,600,000	30,600,000	14,400,000	16,200,000
4年目	1,000台	25,000,000	1,000台	24,000,000	49,000,000	24,000,000	25,000,000
5年目	1,000台	25,000,000	1,000台	31,200,000	56,200,000	24,000,000	32,200,000

# 収益概算(年間予想Ⅱ)

●車いす販売及び自費レンタルの収益予想  
新規取扱として行った場合を想定

項目	販売数量	売上金額 平均¥25,000	レンタル数量	売上金額 平均¥12,000 ※3年PAY	売上合計	仕入金額 平均@12,000	粗利益 ¥
1年目	300台	7,500,000	300台	3,600,000	11,100,000	7,200,000	3,900,000
2年目	300台	7,500,000	300台	7,200,000	14,700,000	7,200,000	7,500,000
3年目	300台	7,500,000	300台	10,800,000	18,300,000	7,200,000	11,100,000
4年目	300台	7,500,000	300台	10,800,000	18,300,000	7,200,000	11,100,000
5年目	300台	7,500,000	300台	10,800,000	18,300,000	7,200,000	11,100,000

# 収益概算(年間予想Ⅲ)

- 車いす販売及び自費レンタルの収益予想  
新規取扱として行った場合を想定

項目	販売数量	売上金額 平均¥25,000	レンタル数量	売上金額 平均¥12,000 ※3年PAY	売上合計	仕入金額 平均@12,000	粗利益 ¥
1年目	100台	2,500,000	100台	1,200,000	3,700,000	2,400,000	1,300,000
2年目	100台	2,500,000	100台	2,400,000	4,900,000	2,400,000	2,500,000
3年目	100台	2,500,000	100台	3,600,000	6,100,000	2,400,000	3,700,000
4年目	100台	2,500,000	100台	3,600,000	18,300,000	2,400,000	3,700,000
5年目	100台	2,500,000	100台	3,600,000	18,300,000	2,400,000	3,700,000